

小6のHさんが 愛光中学校 に合格しました！

Hさんが塾の体験に来たのは小学校4年生の終わりごろでした。最初の授業で「あ、この子は僕より地頭がいいな」と感じました。難しい問題も教えたことを応用して解くので「え、なんで分かるん！恐ろしい！」というやり取りが何度もありました。全国統一学力テストでは愛媛県2位。物事の仕組みを理解する能力が高く、語彙も豊富、この子が見ている世界はどんな景色なんだろうなあ、と感服しています。

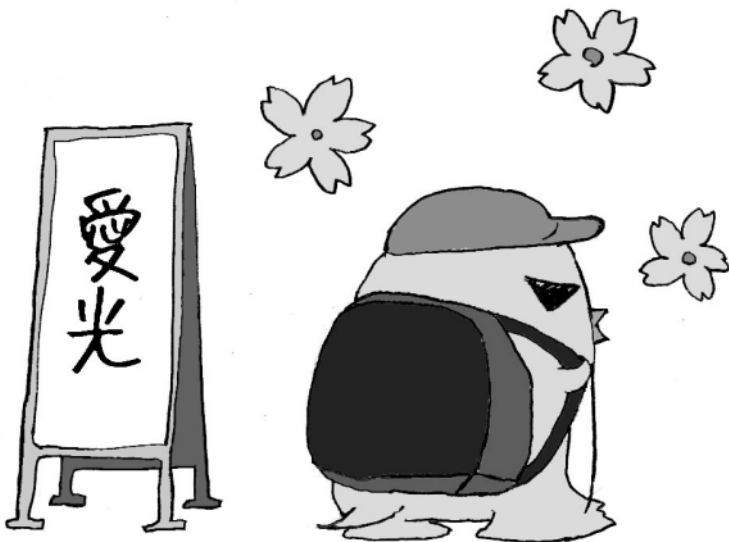
Hさんは私の授業で愛光に合格した2人目の生徒です。1人目は4年前に公立中学から愛光高校に合格したSさん。先月「お正月に日本に帰るからご飯に連れて行って！」と連絡がありました。写真はそのときのものです。彼女は去年高校を卒業し、今はヨーロッパの大学で医学部に通っています。私が年末に受けた人間ドックの診断は糖尿病と痛風の一手手前。彼女には「大病になったら助けて！」とお願いしておきました。お菓子、おいしいんですね。



ヨーロッパの大学で医学部に通うSさん

勉強することで得ることができる最大の恩恵は、大局を見ることができるようになることではないでしょうか。高い教養を身に着けるほど、視野が広くなりチャンスが訪れる。高校を卒業して海外の大学に通うことは、普通の学生であれば選択肢にすら入らないでしょう。彼女は10年後、20年後の日本を考え、留学という決断を下しました。私の場合、視野が大きく広がったのは大学院を飛び級したときでした。教授陣に個別指導のカリキュラムを組んでいただき、日々議論を重ねることで世界を多角的に見ることができるようになりました。ハーバード大で研究員をしていた教授からの推薦状など、多くのチャンスを手にもすることもできました。

日本経済は前人未踏の領域に入ったと揶揄されますが、投資家のジム・ロジャースは「私が10歳の日本人なら、ただちにこの国を去るでしょう」とコメントしています。今の子どもたちを待っている未来は決して安穩なものではないでしょう。子どもたちには逆境に打ち勝つ力を身に着けるため、学業の基礎である小・中学校の勉強を一生懸命がんばってもらいたいと考えています。



2月のお休み

24日(金) ※中3は補習があります。

25日(土)

26日(日)

3月から新年度のテキストで勉強するので2月20日に籍がある生徒はテキストを発注します。テキスト代が必要になります。